



下水汚泥の更なる活用に向けて南安曇農業高等学校と協働で肥料化の効果検証を実施します

下水の処理過程で発生する汚泥の肥料化を目指す取組として、試験水田に下水汚泥を散布し、南安曇農業高等学校と協働で稲の生育試験等の効果検証試験を実施します。

試験にあたり、生徒による試験水田への田植えを行います。

1 効果検証試験

処理場で発生した下水汚泥※について、肥料としての有効性や安全性に関する試験を実施します。

(1) 内容

- ア 土壌中の肥料成分調査
- イ 稲の生育試験
- ウ 下水汚泥の成分分析及び植物に対する害に関する栽培試験
- エ 土壌への重金属成分の蓄積状況確認

(2) 場所

南安曇農業高等学校第2農場(安曇野市堀金烏川1773番地1) 7号水田一部区画(別紙参照)

※下水汚泥とは

… 下水を処理する過程で生じる汚泥。

現在、当処理場で発生する汚泥はセメント原料として資源化している。

植物の成長を促す窒素やリンなどの成分も含まれていることから、昨今の世界情勢による肥料価格の高騰を受け、農業用資材としての活用が期待されている。

2 田植え

稲の生育試験のため、南安曇農業高等学校の生徒が以下の日程で田植えを行います。

(1) 日時

令和5年5月16日(火) 午後1時30分から(1時間程度) ※少雨決行

(2) 場所

上記試験実施場所

(3) その他

- ア 水田への下水汚泥の散布及びすき込みは4月13日(木)に実施済みです。なお、当日はすきこみを行った汚泥(実物)や作業風景の写真をご用意する予定です。
- イ 取材を希望される方は5月12日(金)午後5時まで下記担当者へお申し込みください。また、当日は現場係員の指示に従い、指定場所への駐車をお願いします(別紙参照)。

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

長野県総合5か年計画推進中



長野県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

犀川安曇野流域下水道事務所
(所長)八町博明 (担当)中沢清一
電話 0263-73-6571(直通)
FAX 0263-73-6572
E-mail azuminoryuiki@pref.nagano.lg.jp

試験実施場所 位置図

